

世界を 広げる

Horibata

自由な発想をカタチにする力を養う

クリエイティブ カリキュラム

現代社会では、予測が難しく1つの明確な答えがないような状況が多くあります。このような状況に対応するには、自分自身で新しいアイデアを生み出し、問題に立ち向かう力がとても重要です。

そこで2023年から、絶対解のないところで解を作っていく「クリエイティブの力」を養うことで高校生の可能性を広げようと始まったのが、ホリバタの「クリエイティブ カリキュラム」です。

今年度は宇和島東高校と連携し、授業「探求学習」の中で実施していて、現在、2年生の有志がアート作品の制作に挑んでいます。高校生の作品は「宇和島フォトフェスティバル2025」に合わせて市内に展示し、終了後は再利用することも計画中です。

1年間をかけて、プロと一緒にアート作品の制作と向き合う高校生たちを応援してください。

① 無料

② 青少年市民協働センター（ホリバタ）

☎ 49-7112

✉ u-chuuo-ph@city.uwajima.lg.jp



HORIBATA CHUOKUJIN

LINE@540bfxrh



要望活動シーズン、到来！



日々是 宇和島
(89)



新年度がスタートしてしばらく経ちましたが、5月後半から晩秋にかけては、全国の市町村、あるいは団体から、県や国に対して、来年度に向けての事業採択や必要な財源確保のための要望活動が積極的に展開される時期でもあります。

特に国においては、各県庁でさまざまな補助事業などの財政支援メニューが準備されているものの、国自体が全国1700を超える自治体それぞれの諸事情を十分把握することはできません。

従って、自治体自らが、それらのメニューをどう活用したいのか、どんな効果が見込まれるのかについて、各県庁と膝を交えながら折衝し、必要な支援の獲得に向けて汗をかくことが重要です。本市においても、これまでも精力的な活動をし

てきました。既に市民の皆さんに親しまれているパフィオうわじまの建設や、今夏運用開始予定の市立宇和島病院のエネルギーセンターをはじめとする防災減災対策事業、また、いよいよ本格化する伊達博物館改築事業など、本市の財源だけでは実施が難しい事業について、国の大きな支援を得て進められています。

このような各種支援メニューへのアンテナを常に高く保ち、今後とも、まちづくりを生かしていきたいと思っています。



要望活動の様子